

2013年度 異文化間教育学会
Intercultural Education Society of Japan

第34回大会プログラム



プレセミナー：2013年6月7日（金）

会期：2013年6月8日（土）～9日（日）

会場：日本大学文理学部3号館

異文化間教育学会 第 34 回大会

プログラム 目次

| | |
|-----------------------|----|
| 異文化間教育学会第 34 回大会ご挨拶 | 1 |
| 大会参加者へのご案内 | 2 |
| 大会日程 | 4 |
| 日本大学文理学部へのアクセス | 5 |
| キャンパスマップ | 7 |
| 会場案内 | 8 |
| フロアマップ | 9 |
| プレセミナーのご案内 | 11 |
| 発表について | 12 |
| 異文化間教育学会「優秀発表賞」について | 13 |
| 特定課題研究 | 14 |
| ランチセッション | 15 |
| 第 34 回大会企画 公開シンポジウム | 16 |
| 研究発表プログラム | 17 |
| 個人発表 | 18 |
| 共同発表 | 28 |
| ケース／パネル発表 | 32 |
| ポスター発表 | 34 |
| 第 34 回大会賛助団体ご芳名 | 37 |
| 異文化間教育学会第 34 回大会準備委員会 | 43 |

異文化間教育学会第 34 回大会 ご挨拶

異文化間教育学会の第 34 回研究大会を、2013 年 6 月 8 日（土）、9 日（日）の両日、日本大学文理学部で開かせていただくことになりました。

文理学部のキャンパスは、東京都世田谷区にあります。新宿駅から京王線で 10 分。下高井戸駅で下車し、日大通り商店街をまっすぐ 8 分ほど歩くとキャンパスに到着します。東京でも少なくなった学生街の雰囲気はまだ味わっていただけるところです。

文理学部は、日本大学にある 14 の学部の一つですが、学生数 9000 名（18 学科）の大きな学部です。学部としての特徴のひとつは、100 年を越す中等教員養成の歴史をもち、数多くの教員を全国に送りだしている点です。1901 年（明治 34）に設置された高等師範科が文理学部のはじまりということで、現在も、毎年 600 名ほどの学生が教員免許をとって卒業していきます。

また、オリンピックのメダリストなど、多数のアスリートを輩出していることも文理学部の特徴で、昨年も、ロンドン・オリンピックに 5 名、パラリンピックに 2 名の学部関係者が出場しています。

2013 年の研究大会では、こうした文理学部らしいカラーがどこかでだせたらなあ、と考えております。幸い、学部のスタッフだけでなく、文理学部で開催された第 5 回異文化間教育学会研修会（2007 年）を支えた獲得型教育研究会（略称：獲得研）のメンバーからも、全面的サポートがえられることになりました。

もてなしの心のみちた立命館アジア太平洋大学（APU）の大会運営に学びながら、進めております。会員のみなさま、この機会にぜひ日本大学文理学部におこしください。お待ち申し上げます。

2013 年 4 月 24 日

異文化間教育学会
第 34 回大会準備委員会
委員長 渡部 淳

大会参加者へのご案内

大会日程

大会会期：2013(平成25)年6月8日(土)-6月9日(日)

会 場：日本大学文理学部3号館

※懇親会：2013年6月8日(土) 発表終了後 会場：日本大学文理学部3号館1F 秋桜

※プレセミナー：2013年6月7日(金) 会場：文理学部百周年記念館

参加資格

会員・非会員を問わず、どなたでもご参加いただけます。

参加申し込み

事前申し込みをされる方は、大会参加費および懇親会費は、5月15日(水)までにお振込みください。

5月15日以降は、大会当日に当日料金をいただくこととなりますことをご了承ください。

web 入力をお願い

参加申し込みならびに発表申し込みを希望される方は、会員・非会員とも以下の第34回大会ホームページ内「参加・発表の申し込み」ページよりお手続きください。

(<http://www.intercultural.jp/iesj2013/06.html>)

お申し込み手続き終了後、登録受付完了メールが自動送信されますので、参加費合計金額などの内容をご確認ください。メールを受信後1週間以内に、諸費用を指定口座までお振込みください。参加費の受領をもって、参加申し込みの受付完了といたします。

大会参加費および懇親会費

| | | 事前料金 (5月15日まで) | 当日料金 |
|-------|---------|-------------------|--------|
| 大会参加費 | 正会員 | 5,000円 | 6,000円 |
| | 学生会員 | 3,000円 | 4,000円 |
| | 通信会員 | 5,000円 | 6,000円 |
| | 非会員(一般) | 6,000円 | 7,000円 |
| | 非会員(学生) | 4,000円 | 5,000円 |
| | 維持会員 | 1口1名様無料 | 7,000円 |
| | 名誉会員 | ご招待 | |
| 懇親会 | 一般 | 5,000円 | 6,000円 |
| | 学生会員 | 3,000円 | 4,000円 |

お払い込みいただいた参加費などは、理由を問わず返却いたしません。予めご了承ください。

- 参加費をお振込みいただく際は、参加者 1 名につき 1 枚の払込取扱票をご使用ください。領収書は、当日に受付でお渡しいたします。
- 6 月 8 日・9 日の両日とも午前 9 時より受付を行いません。受付にて名札をお受け取りいただき、大会会期中はその名札をご着用ください。
- 特定課題研究、公開シンポジウム、個人発表、共同発表、ケース・パネル発表、ポスター発表の発表者および司会者の方は「発表者・司会者受付」にお越しください。
- 会場には一般来訪者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 6 月 8 日・9 日の両日とも 1F カフェテリア秋桜は営業しておりますが、メニューは限定されます。日大通りには多種多様なレストランなどがございます。詳しくは下高井戸商店街 HP をご覧ください。
<http://www.shimotaka.or.jp/> 「お店を探す」>「地図から探す」>「日大通」
- 宿泊は各自でご手配ください。

連絡先

大会・Web 申し込み・お支払いに関するお問い合わせ

異文化間教育学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株)国際文献社内

E-mail : iesj-desk@bunken.co.jp

Fax : 03-5227-8632

会員登録に関するお問い合わせ

異文化間教育学会事務局会員業務係

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株)国際文献社内

E-mail : iesj-post@bunken.co.jp

Fax : 03-3368-2822

大会当日に関するお問い合わせ

第 34 回大会準備委員会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 日本大学文理学部 渡部研究室内

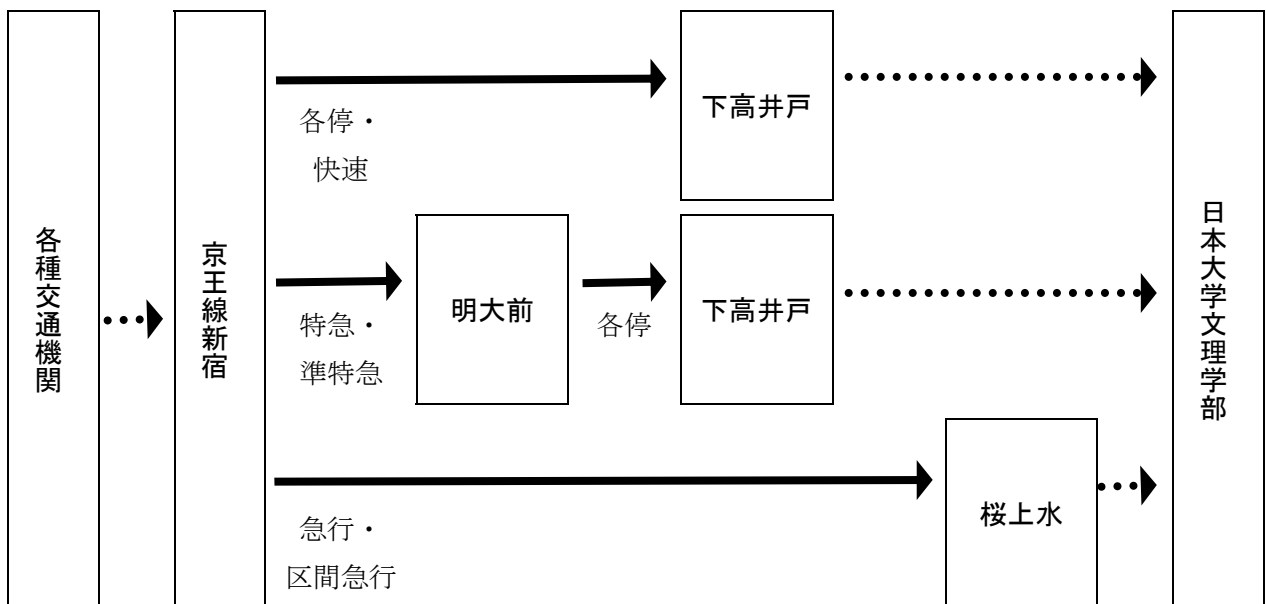
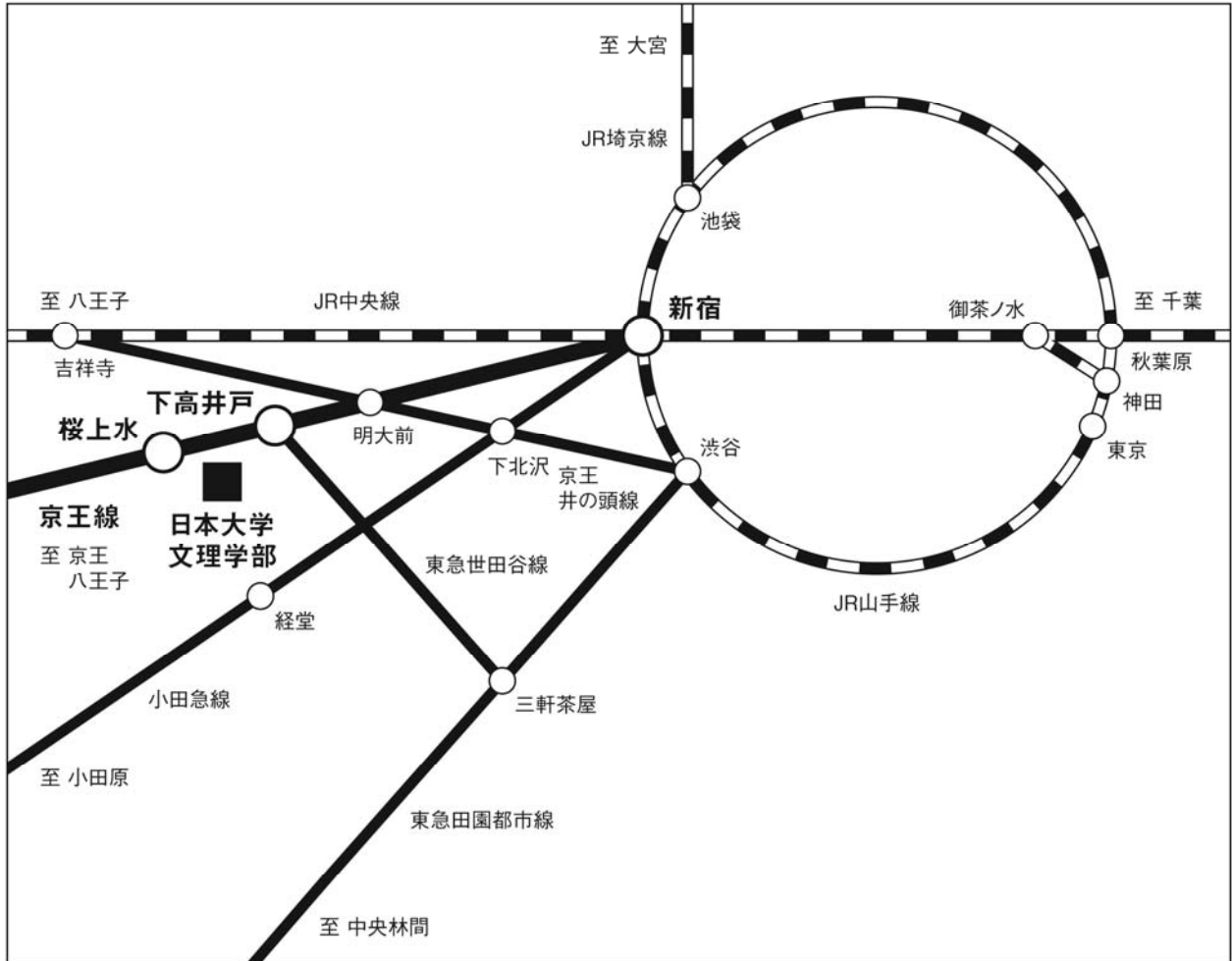
E-mail: iesj2013@gmail.com

Fax: 03-5317-9425

大会日程

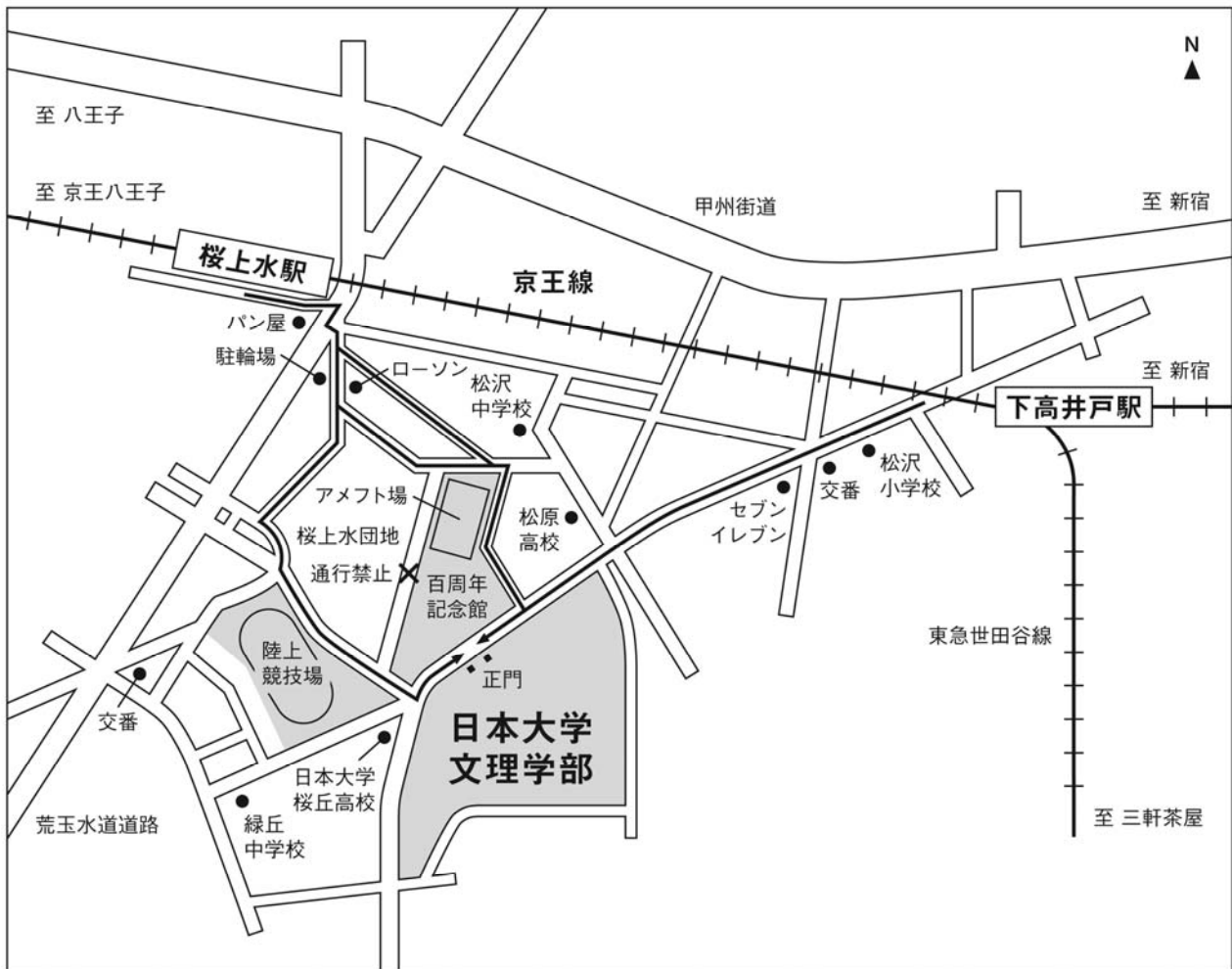
| | 6月7日 (金) | 6月8日 (土) | 6月9日 (日) | | | |
|-------|--|--|--|--|--|---|
| 9:00 | | 9:00- 受付 3号館5F ホワイエ | 9:00- 受付 3号館5F ホワイエ | | | |
| 9:30 | | 9:30-12:30 特定課題研究 「『国際結婚』女性の子育て： 移動と言語を中心に」 5F 3505教室 | 9:30-12:00 公開シンポジウム 「学びの身体を問い直す —教育コミュニケーションと演劇的知の視点から」 5F 3505教室 | | | |
| 12:00 | | 12:30-13:30 昼食 1F 秋桜他 | 12:30-13:30 各種委員会 広報・情報化 5F 3501教室 | 12:00-13:00 昼食 1F 秋桜他 | 12:15-12:55 ランチセッション 4学会連携 ワールドカフェ報告 3F 3303教室 | 12:00-13:00 研究委員会 5F 3508教室 |
| 12:15 | | | 12:30-13:30 企画・交流 5F 3503教室 | 13:00-15:30 個人発表 4F 3404教室 3406教室 3408教室 | | |
| 12:30 | | | 12:30-13:30 紀要編集 5F 3506教室 | | 13:00-15:30 個人発表 4F 3404教室 3406教室 3408教室 | 13:00-16:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 |
| 12:55 | | | 12:30-13:30 研究委員会 5F 3508教室 | 13:00-15:30 個人発表 4F 3404教室 3406教室 3408教室 | | |
| 13:00 | | 13:30-14:30 総会 5F 3505教室 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ |
| 13:30 | | 13:30- 受付 百周年記念館入口 | | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | | |
| 14:00 | | 14:00-17:30 プレセミナー 「獲得型授業を めざす教師のため のドラマ技法 活用講座」 百周年記念館 国際会議場他 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ |
| 14:30 | | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | | |
| 15:00 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ | | | |
| 15:30 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | | | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ | |
| 16:00 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ | | | |
| 16:30 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | | | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ | |
| 17:00 | 14:30-17:00 個人発表 4F 3403教室 3404教室 3406教室 3408教室 3F 3304教室 3306教室 3308教室 | 15:00-17:00 共同発表 4F 3409教室 3410教室 | 13:30-15:00 ポスター発表 3F ホワイエ | | | |
| 17:30 | 17:30-20:00 理事会 百周年記念館 会議室2 | | | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 |
| 19:30 | 17:30-20:00 理事会 百周年記念館 会議室2 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | | |
| 20:00 | 17:30-20:00 理事会 百周年記念館 会議室2 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | | | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 | 17:30-19:30 懇親会 1F 秋桜 |

日本大学文理学部へのアクセス①



※京王線新宿駅では1-3番線から発車するいずれの列車もご利用になれます。

日本大学文理学部へのアクセス②

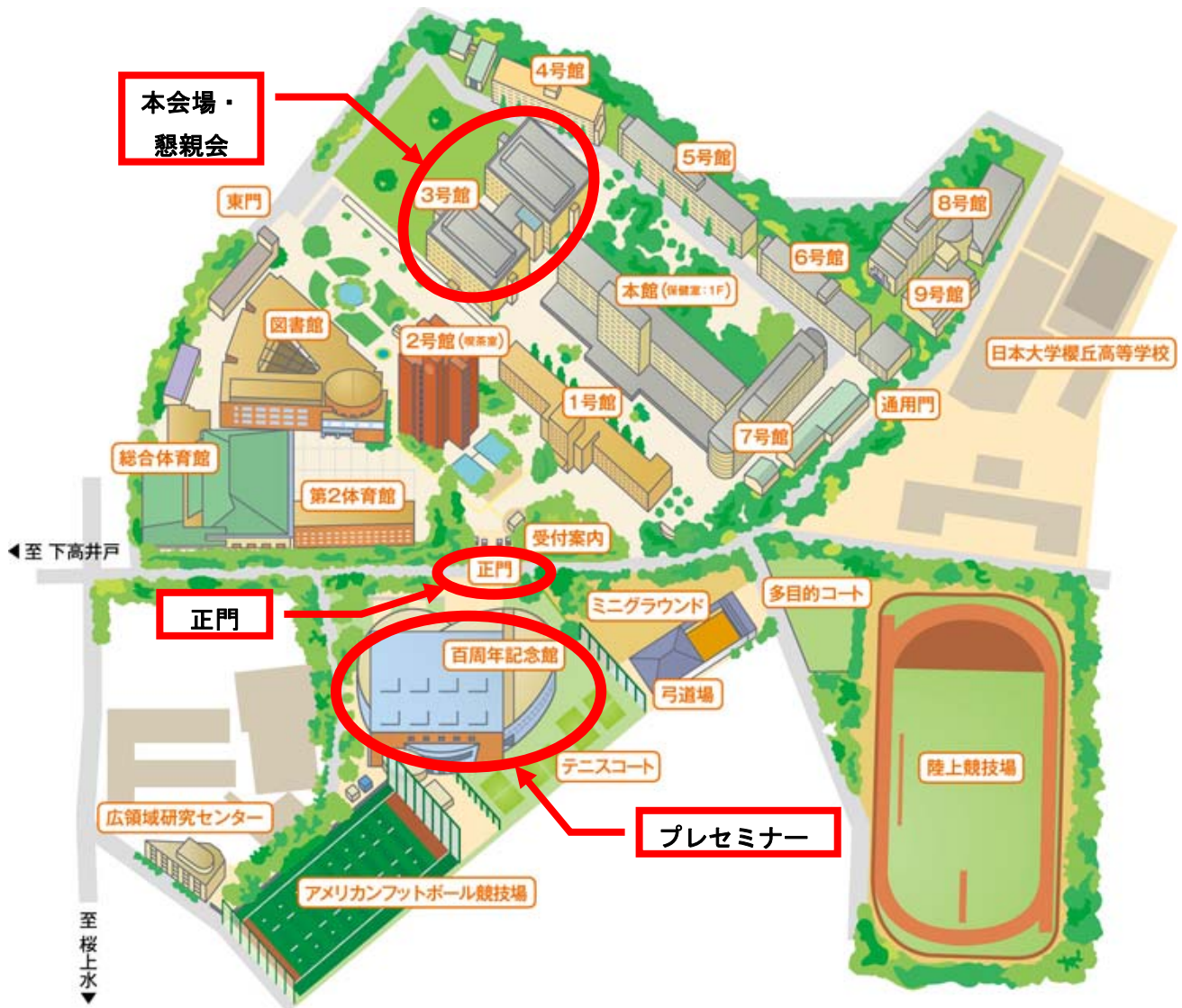


京王線「下高井戸」駅・「桜上水」駅より、いずれも徒歩8分

※詳細につきましては、大会 HP のアクセスマップをダウンロードしてご覧ください。

<http://www.intercultural.jp/iesj2013/pdf/accessmap.pdf>

キャンパスマップ



■会場

プレセミナー 百周年記念館

本会場 3号館 (5F 受付)

懇親会 3号館 1F 秋桜

※3号館へは正門よりお入りください。

会場案内

大会前日 6月7日(金) 文理学部百周年記念館

| | |
|--------|-------------|
| 受付 | 13:30- |
| プレセミナー | 14:00-17:30 |
| 理事会 | 17:30-20:00 |

大会第1日 6月8日(土) 3号館

| | | | |
|-----------|-------------|--------|-----------------|
| 受付 | 9:00- | 5F | ホワイエ |
| 特定課題研究 | 9:30-12:30 | 〃 | 3505 教室 |
| 広報・情報化委員会 | 12:30-13:30 | 〃 | 3501 教室 |
| 企画・交流委員会 | 〃 | 〃 | 3503 教室 |
| 紀要編集委員会 | 〃 | 〃 | 3506 教室 |
| 研究委員会 | 〃 | 〃 | 3508 教室 |
| 総会 | 13:30-14:30 | 〃 | 3505 教室 |
| 個人発表 | 14:30-17:00 | 4F, 3F | 各教室 |
| 共同発表 | 15:00-17:00 | 4F | 3409 教室、3410 教室 |
| 懇親会 | 17:30-19:30 | 1F | 秋桜 |

大会第2日 6月9日(日) 3号館

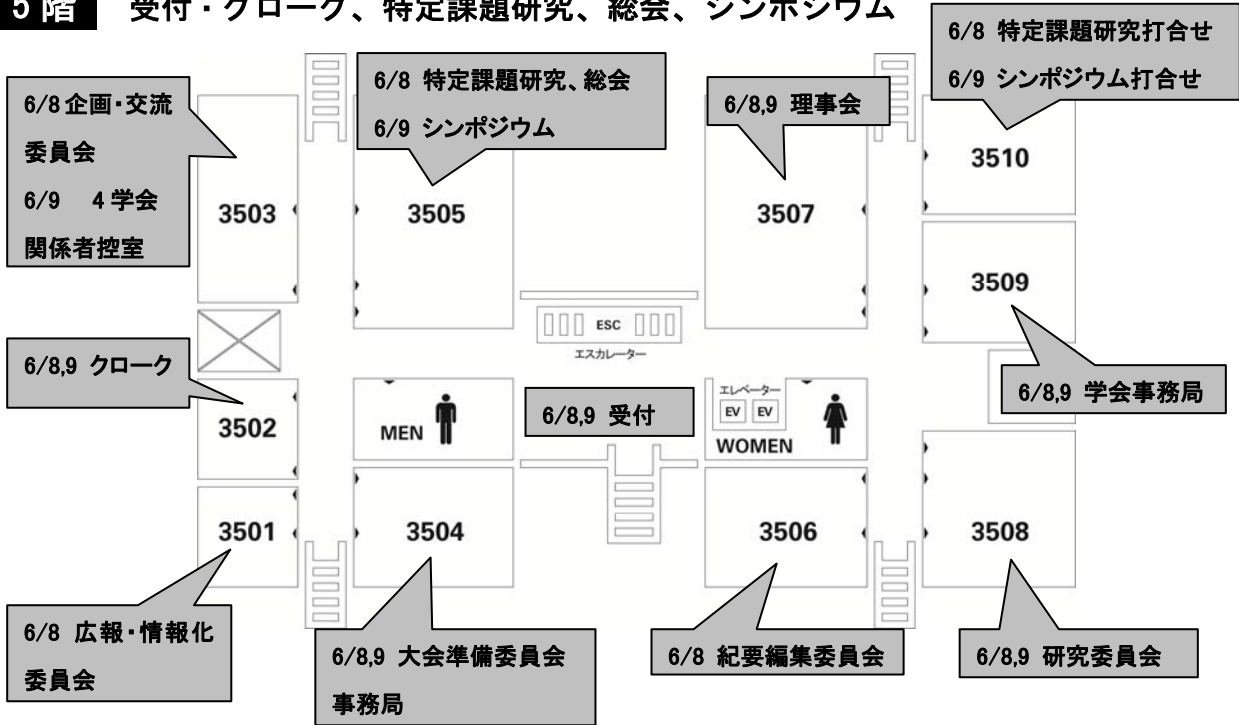
| | | | |
|-----------|-------------|----|-------------------------|
| 受付 | 9:00- | 5F | ホワイエ |
| 公開シンポジウム | 9:30-12:00 | 〃 | 3505 教室 |
| 研究委員会 | 12:00-13:00 | 〃 | 3508 教室 |
| ランチセッション | 12:15-12:55 | 3F | 3303 教室 |
| 個人発表 | 13:00-15:30 | 4F | 3404 教室、3406 教室、3408 教室 |
| 共同発表 | 13:00-16:00 | 〃 | 3409 教室、3410 教室 |
| ケース／パネル発表 | 13:00-16:00 | 3F | 各教室 |
| ポスター発表 | 13:30-15:00 | 〃 | ホワイエ |

| | | | |
|-------|-----------------|----|-------------------|
| ■大会本部 | | 5F | 3504 教室 |
| ■学会本部 | | 〃 | 3509 教室 |
| ■昼食会場 | 第1日 11:00-17:00 | 1F | 秋桜他(購買・軽食コーナーもあり) |
| | 第2日 11:30-13:30 | | |
| ■書籍展示 | | 4F | ホワイエ |
| ■クローク | 第1日 9:00-17:15 | 5F | 3502 教室 |
| | 第2日 9:00-16:30 | | |

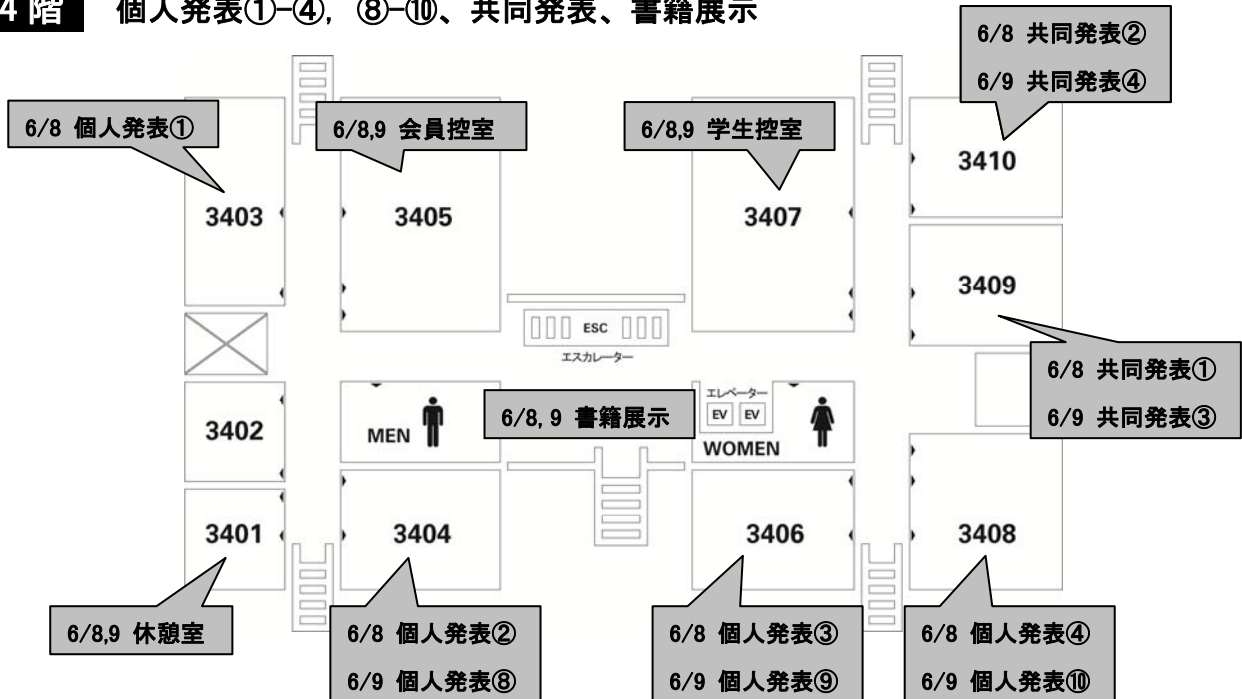
※お預け入れの際に預かり証をお受け取りください。貴重品はお預かりできません。

フロアマップ

5階 受付・クローク、特定課題研究、総会、シンポジウム

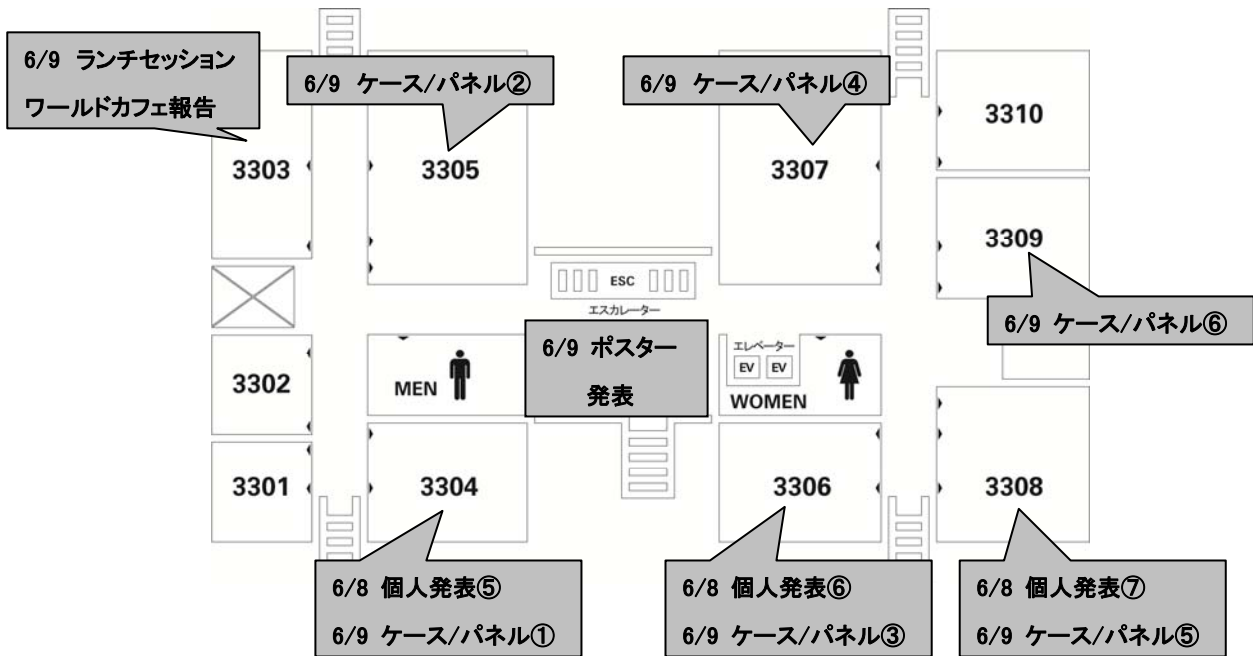


4階 個人発表①-④, ⑧-⑩、共同発表、書籍展示



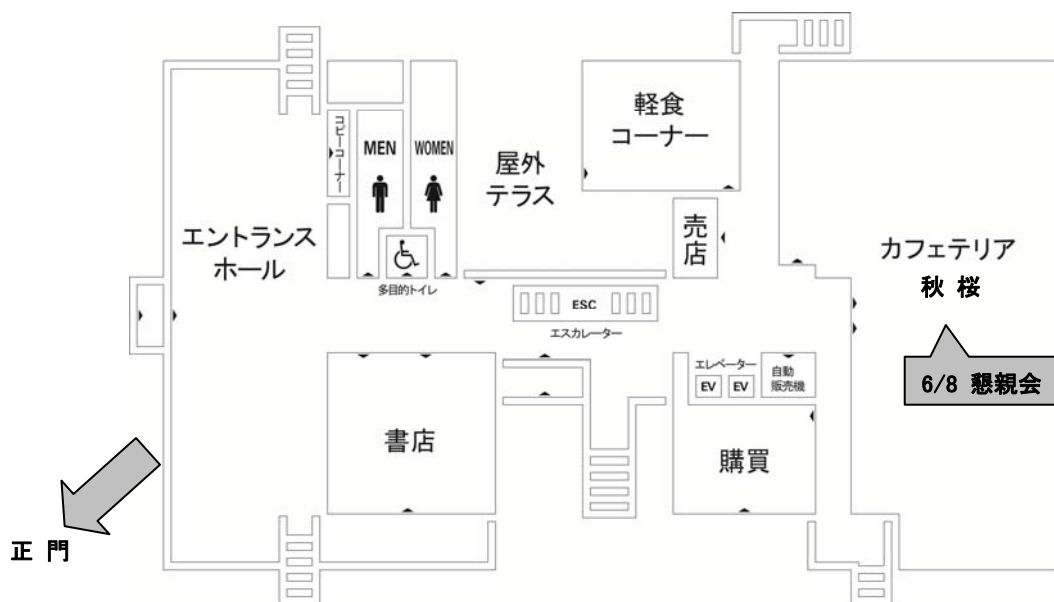
3階

ランチセッション、個人発表⑤-⑦、ケース・パネル発表、ポスター発表



1階

懇親会



プレセミナーのご案内

6月7日（金）14:00-17:30（受付開始 13:30）

文理学部百周年記念館

獲得型授業をめざす教師のためのドラマ技法活用講座

●テーマ：ドラマをとおして考えるハックルベリー・フィンの冒険

プレセミナーは、大会開催校の企画です。今回は、さまざまな教育場面でドラマ技法の活用を模索してきた共同研究者6名を講師陣に迎え、ワークショップを実施いたします。

異質な文化との接触は「未知との遭遇」でしょう。そこで生じる問題や摩擦は、冒険によって遭遇する困難に通じるのではないのでしょうか。

「冒険」文学の古典をもとにしたドラマワークの体験をとおして、参加体験型学習のデザインと運用、異文化理解について参加者の皆さんとともに考えます。

学びの場を和ませ、探究の土壌をつくる様々なウォーミングアップ・アクティビティの活用についても体験していただきます。

どうぞふるってご参加ください。

*ワークショップですので、動きやすい服装でおいでください。上履きもあればご持参ください。

- 講師： 吉田 真理子 （津田塾大学学芸学部英文学科教授）
- 高山 昇 （私立和光高等学校、日本大学、桜美林大学、中部大学非常勤講師）
- 田ヶ谷 省三 （立川市生涯学習指導協力者）
- 武田 富美子 （立命館大学生命科学部准教授）
- 青木 幸子 （昭和女子大学総合教育センター・日本語日本文学科准教授）
- 関根 真理 （啓明学園中学高等学校国際交流コーディネーター）

●募集人員： 50名（定員になり次第、先着順にて締め切らせていただきます。）

●プレセミナー参加費： 学生会員 3,000円 正会員・通信会員 4,000円
非会員 5,000円 非会員（学生） 4,000円

●お申し込み方法： 大会HPよりお申し込みください。

<http://www.intercultural.jp/iesj2013/06.html>

●お問い合わせ先： 異文化間教育学会第34回大会ヘルプデスク iesj-desk@bunken.co.jp

発表について

研究発表、シンポジウムなどは、以下の種別で行なわれます。発表者、題目、時間帯、会場などの詳細は、それぞれの部会のページをご覧ください。

特定課題研究

公開シンポジウム

ランチセッション

個人発表

共同発表

ケース／パネル発表

ポスター発表

■個人発表、共同発表、ケース／パネル、ポスター発表 発表要領

1. 発表時間（交代時間を含む）

A. 個人発表 30分（発表20分、質疑応答10分）

B. 共同発表 60分（発表40分、質疑応答20分）

C. ケース／パネル発表 90分（発表50分、質疑応答40分）

※会場での運営は、各グループでお願いいたします。

参加者による質疑応答の時間を確保するようご配慮ください。

D. ポスター発表 6月9日（日）13:30-15:00

※上記の時間帯は持ち場を離れないでください。

会場は12:00からご使用いただけます。

2. 配布資料

- ・ハンドアウトを配布される方は、1発表につき50部程度ご用意ください。なお、大会準備委員会では印刷をお受けすることはできませんことを予めご了承ください。
- ・停電などによりPCが使用できない場合にお備えください。

3. 使用機器

- ・発表を申し込まれた方には、別途機材などに関するご案内をお送りいたします。詳細は大会HPあるいはメールニュースをご覧ください。
- ・会場校にて各教室にPCとプロジェクタを用意しますが、万が一接続などの問題が発生した場合に備え、ご自身のノートPCもお持ちください。Macの場合はアダプタもご用意ください。
- ・機材の操作は発表者ご自身で行なってください。

4. 発表者欠席の場合

- ・やむを得ない事情により発表者が欠席する場合には、できるだけ前日までに大会準備委員会にお知らせください。

※第34回大会準備委員会 E-mail: iesj2013@gmail.com Fax: 03-5317-9425

- ・発表取りやめがあっても、プログラムの繰り上げはいたしません。

異文化間教育学会「優秀発表賞」について

異文化間教育学会では、異文化間教育学の発展を期して、会員の研究発表を奨励し、研究発表の向上を諮ることを目的として、「優秀発表賞」を設けています。

この賞は、当該大会における「個人発表」（複数の発表者による発表も可）の中から、優秀と評価された発表に与えられるものです。受賞者は、規定に定められた推薦者が候補者を推薦し、審査委員会が審査を行った後、理事会の承認を得て決定されます。

候補者の推薦にあたっては、大会参加会員にも投票（以後、アンケート投票）の機会を用意しました（ただし、このアンケート投票は審査委員会による「優秀発表賞」の候補者選出の際の参考資料とするためのもので、受賞者を選出するためのものではありません）。ついては、大会参加会員には「優秀発表賞」候補者推薦投票用紙が各自1枚、配布されますので、それを用いてアンケート投票を行って下さい。投票の詳細は、下記の通りです。

今大会が第2回目となる「優秀発表賞」の実施にあたり、大会参加会員各位のご理解とご協力をお願い致します。

異文化間教育学会
理事長 横田雅弘

■ 投票の詳細

- 本アンケート投票は、審査委員会による「優秀発表賞」の候補者選出の際の参考資料とするためのもので、受賞者を選出するためのものではありません。
- アンケート投票用紙は大会参加会員1名につき1枚のみです。
- 投票できるのは「個人発表」のものに限ります。ただし、発表者が複数であっても「個人発表」として発表するものについては投票可です。「共同発表」「ポスターセッション」「ケース/パネル発表」は除きます。
- アンケート投票用紙は記載後、受付及び所定の場所に設けられた投票箱（優秀発表賞用投票箱）に入れて下さい。
- 投票期間は6月8日（土）14:30から6月9日（日）16:30までとします。それ以前、以後に投票されたものは無効とします。
- 不正な投票が行われた場合には当該の投票は無効とします。

特定課題研究

6月8日(土) 9:30-12:30

5F 3505 教室

「国際結婚」女性の子育て：移動と言語を中心に

近年、自らの意志や選択で国境を越えていく日本人女性が顕在化している。本研究では、中国、日本、韓国、沖縄それぞれの社会的情勢や、女性自身の条件（学歴、都市出身か否かなど）、言語（英語か少数言語か、など）を踏まえつつ、移動しながら生きていく女性の選択や実践を、とりわけ子育てに注目しながら明らかにしていく。

●コーディネーター： 渋谷 真樹（奈良教育大学）

●発題者：

「中国人女性結婚移民の教育戦略と移動」

サイ ハンジュナ（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所研究員他）

「国際結婚家庭の言語選択と社会的要因—韓日国際結婚家庭の日本語の継承を中心として—」

花井 理香（関西学院大学大学院研究員）

「アメラジアンの子どもを育てるといふこと—母親のライフヒストリーを中心に—」

野入 直美（琉球大学）

●コメンテーター： 手塚 千鶴子（慶應義塾大学）

4 学会連携事業 ランチセッション

6月9日（日）12:15-12:55

3F 3303 教室

報告「ワールドカフェで考えよう——多文化社会を担う人材とは」

2012 年度より、異文化間教育学会・日本語教育学会・日本コミュニティ心理学会・日本学校教育学会による4学会連携事業が始動いたしました。今後は、多文化社会を担う人材育成を目的とした様々な研修会を4学会で継続的に実施します。

2013年2月24日（日）には、多文化社会を担う人材をテーマに、ワールドカフェという手法を用いた第1回目の研修会が立教大学で開催されました。当日の様子はビデオ作品として編集されておりますので、みなさんにご覧いただき、運営関係者による解説を交えながら意見交換をさせていただければ幸いです。

なお、本研修会は2012年度公文国際奨学財団からの研究助成金により運営されました。

学会事務局

第34回大会企画 公開シンポジウム

6月9日(日) 9:30-12:00

5F 3505 教室

学びの身体を問い直す —教育コミュニケーションと演劇的知の視点から—

ドラマ技法などを活用し、学習者が現実の世界とフィクションの世界を往還しながら、全身で学ぶスタイルの授業が広がっている。本シンポジウムの課題は、そうした学びの全身化をめざす授業がどのようにデザインされ、どのように運用され、またそうした方法がどんな可能性と限界をもつものなのか、実践事例をもとに検討することにある。

具体的には、①学校劇の脚本・演出家として知られる宮崎充治氏から、アフガニスタンを素材とする絵本『せかいいちうつくしいぼくの村』（ポプラ社）からドラマワークをつくる小学校中学年での実践を、②不登校経験者が数多く在籍する定時制高校の家庭科教師であり演劇部の指導者でもある小松理津子氏から、一人ひとりの生徒と丁寧に向きあう家庭科での実践を、③幼稚園、定時制高校、専門学校、大学で体育を担当する藤井洋武氏から、学生たちの気づきと身体性の変容を促す大学授業での実践を、それぞれ報告していただき、横田雅弘氏、渡辺貴裕氏のお二人に、事例報告の含意を深め、広げるコメントをしていただく。

今回の事例報告に象徴される新しい試みが、ひいては教育目標や学力そのものの見直しにまでつながるものなのかどうか、そうした射程の広がりについても考察してみたい。

●シンポジストと発表テーマ：

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 「身体を使って物語を読み、ひらき、つながる」 | 宮崎 充治 (桐朋小学校) |
| 「こころと身体をひらく教育実践」 | 小松 理津子 (秋田明德館高等学校) |
| 「大学での学びと身体性」 | 藤井 洋武 (日本大学) |

●コメンテーター：

- 横田 雅弘 (明治大学、異文化間教育学会理事長)：異文化間教育学の視点から
渡辺 貴裕 (帝塚山大学)：教育方法学の視点から

●企画と趣旨提案：

- 渡部 淳 (日本大学、大会準備委員長)

●司会：

- 吉田 真理子 (津田塾大学)
和田 俊彦 (跡見学園中学校高等学校)

※参加費無料、どなたでもご参加いただけます。

研究発表プログラム

個人発表

6月8日(土) 14:30-17:00 会場①(4F 3403 教室)、会場②(4F 3404 教室)、
会場③(4F 3406 教室)、会場④(4F 3408 教室)、
会場⑤(3F 3304 教室)、会場⑥(3F 3306 教室)、
会場⑦(3F 3308 教室)

6月9日(日) 13:00-15:30 会場⑧(4F 3404 教室)、会場⑨(4F 3406 教室)、
会場⑩(4F 3408 教室)

共同発表

6月8日(土) 15:00-17:00 会場①(4F 3409 教室)、会場②(4F 3410 教室)

6月9日(日) 13:00-16:00 会場③(4F 3409 教室)、会場④(4F 3410 教室)

ケース・パネル発表

6月9日(日) 13:00-16:00 会場①(3F 3304 教室)、会場②(3F 3305 教室)、
会場③(3F 3306 教室)、会場④(3F 3307 教室)、
会場⑤(3F 3308 教室)、会場⑥(3F 3309 教室)

ポスター発表

6月9日(日) 13:30-15:00 3F ホワイエ

個人発表 第①会場 4F 3403 教室 (6月8日(土))

司会：松尾 知明 (国立教育政策研究所)

林 さと子 (津田塾大学)

- 14:30—15:00 異文化共生社会を創造していくシティズンシップ教育とは？：高校2年自由選択科目『英語演習Ⅰ』の実践報告と批判的分析
相良 武紀 (法政大学大学院社会学研究科社会学専攻)
- 15:00—15:30 保育園におけることばの教育実践
—保育士の子どもと保護者をめぐる評価—
當銘 美菜 (早稲田大学大学院日本語教育研究科院生)
- 15:30—16:00 東日本大震災被災地におけるサービスラーニングと異文化間理解 仮設住宅におけるサロン活動を通じた学生たちの学び(2)
齋藤 眞宏 (旭川大学)
- 16:00—16:30 アスペルガーを配偶者にもつ人のおかれている状況～定型と非定型という異文化からみえてくるもの～
西 由香利
- 16:30—17:00 異文化間コミュニケーション教育を目的とした英語の授業における映像教材の活用と実践
中川 典子 (流通科学大学サービス産業学部)

個人発表 第②会場 4F 3404 教室 (6月8日(土))

司会：大味 潤 (尚美学園大学)

石井 恵理子 (東京女子大学)

- 14:30—15:00 カナダ在住日本人女性の就労における葛藤と異文化受容態度との関連
和田 薫子 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
- 15:00—15:30 二言語併用話者の相互行為における「立場」の位置づけに関する考察—会話時に起こるコードスイッチングに着目して—
大坪 麻梨 (関西学院大学大学院)
- 15:30—16:00 日豪の外国語を学ぶ児童同士が、ライブ動画を用いて、対等の立場での1対1会話を
行う異文化間コミュニケーション授業の実践報告と効果の検証
奥村 聡 (一般社団法人 CCC プロジェクト)
- 16:00—16:30 異文化の“はざま”を産む「共生」の身体技法
—映画『かもめ食堂』にみる棲み分けと交換不可能性のあいだ—
横田 和子 (早稲田大学文学学術院)
- 16:30—17:00 異文化間葛藤解決のための効果的トレーニングとコミュニケーション
—ある多文化チームの事例研究
岐部 慶子 (武蔵野美術大学)

個人発表 第③会場 4F 3406 教室 (6月8日(土))

司会： 宇土 泰寛 (椋山女学園大学)
森茂 岳雄 (中央大学)

- 14:30—15:00 多文化社会ドイツにおける青少年の異文化理解を促す体制づくり
伊藤 亜希子 (山梨大学大学教育研究開発センター)
- 15:00—15:30 多言語環境を前提とした異文化間教育の可能性
大山 万容 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
- 15:30—16:00 海外フィールドワークにおけるマルチヴォーカリティを通じた学習環境デザイン
岸 磨貴子 (明治大学)
- 16:00—16:30 多言語多文化社会で言語教育が何をなしうるか?——スイスの先進的な取り組みから
福田 浩子 (茨城大学人文学部)
- 16:30—17:00 乳幼児期からのグローバル教育教材効果 (2) —差異と共通性の気付きの変化—
佐藤 千瀬 (聖学院大学人間福祉学部児童学科)

個人発表 第④会場 4F 3408 教室 (6月8日(土))

司会： 稲田 素子 (立教大学)
河野 俊之 (横浜国立大学)

- 14:30-15:00 アジア系アメリカ人の女の子たちが創造する「ホーム」：ポピュラー・カルチャーの役割に着目して
徳永 智子 (日本学術振興会 (国際基督教大学))
- 15:00-15:30 海外赴任におけるコミュニケーション上の問題の考察～ハイコンテクスト特性が異文化適応に及ぼす影響～
安田 正 (株式会社パンネーションズ・コンサルティング・グループ)
上原 千友 (株式会社パンネーションズ・コンサルティング・グループ)
- 15:30-16:00 日本の言語教育における CEFR 応用の可能性と意義
奥村 三菜子 (お茶の水女子大学)
- 16:00-16:30 短期国際ワークキャンプがグローバル人材育成に及ぼす影響
宇治谷 映子 (名古屋外国語大学)
- 16:30-17:00 日本語ゼロ学習者は、日本のアニメを活用した日本語授業を体験して意識をどう変容させたか —中国の小学校における授業実践から—
矢崎 満夫 (静岡大学教職大学院)

個人発表 第⑤会場 3F 3304 教室 (6月8日(土))

司会： 横須賀 柳子 (国士舘大学)
阿部 祐子 (国際教養大学)

- 14:30—15:00 中国人留学生の留学生活満足度に影響を及ぼす進路未決定時期とその関連要因
村越 彩 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
- 15:00—15:30 留学生コミュニティと在日留学生の異文化適応の関係研究
田 チョロン (明治大学国際日本学研究科)
- 15:30—16:00 元外国人留学生社員の組織適応に関する研究
—経験学習行動から探る—
島田 徳子 (東京大学大学院学際情報学府文化・人間情報学コース)
- 16:00—16:30 地方留学の利点と課題—大分、秋田、鳥取における留学生の地域との交流状況と意識
調査から—
佐藤 由利子 (東京工業大学留学生センター)
- 16:30—17:00 超短期留学生受け入れ日本語・日本文化プログラムでのeポートフォリオの活用
—その成果と課題—
宮城 徹 (東京外国語大学留学生日本語教育センター)

個人発表 第⑥会場 3F 3306 教室 (6月8日(土))

司会： 國枝 マリ (津田塾大学)
浜田 麻里 (京都教育大学)

- 14:30-15:00 文化的アイデンティティ間の対話的關係—かつての海外帰国児童の事例から—
黒羽 カテリーナ (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
- 15:00-15:30 「移動する子ども」のアイデンティティ
米山 わこ (東京女子大学現代教養学部人間科学科言語科学専攻)
- 15:30-16:00 臨床心理士の異文化受容—外国人児童生徒の理解と心理臨床的援助—
藤田 恵津子 (鳥取環境大学環境学部)
- 16:00-16:30 自由の実践としての日本語教育：ある日本語教師のライフヒストリーに学ぶ
加藤 鈴子 (東京福祉大学教育学部)
- 16:30-17:00 多文化共生を志向する対話の課題 - 日本語母語話者の内省から -
トンプソン(平野) 美恵子 (お茶の水女子大学大学院)
※2012年度若手研究交流会による選出

個人発表 第⑦会場 3F 3308 教室 (6月8日(土))

司会： 田中 共子 (岡山大学)
小野 由美子 (鳴門教育大学)

- 14:30—15:00 JSL 児童の学習におけるつまずきの解明
小沼 清香 (京都女子大学発達教育学研究科教育学専攻博士後期課程)
- 15:00—15:30 多文化背景を持つ高校生のメインストーリーミング
下島 泰子 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)
- 15:30—16:00 長期日本滞在ブラジル人生徒はブラジルをどうとらえているか
根橋 玲子 (明治大学情報コミュニケーション学部)
- 16:00—16:30 JSL 生徒少数在籍校におけるピア・レスポンスの試みーある高等学校の国語の授業実践ー
齋藤 昭子 (東北大学大学院文学研究科、山形県立庄内総合高等学校)
- 16:30—17:00 幼稚園・保育園から小学校への移行における課題
～幼・保・小それぞれの学校文化と制度の間で～
内田 千春 (共栄大学教育学部)

個人発表 第⑧会場 4F 3404 教室 (6月9日(日))

司会：宮城 徹 (東京外国語大学)

山田 千明 (山梨県立大学)

- 13:00-13:30 ニューカマー生徒の学校適応に関する検討—日中学校文化の差異に着目して—
潘 英峰 (大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程)
- 13:30-14:00 異文化適応の為の短期英会話授業の有効性について
大味 潤 (尚美学園大学総合政策学部)
- 14:00-14:30 移住者の社会参加を促す要因とそのプロセスに関する研究：移住者の語りから
八木 真奈美 (早稲田大学日本語教育研究センター)
- 14:30-15:00 コミュニティセンターの言語教育—シンガポール経済と外国人受入れ政策から
岡本 佐智子 (北海道文教大学外国語学部)
- 15:00-15:30 日本人大学生と海外大学生におけるアサーション度に関する研究
—青年用アサーション尺度およびアサーションチェックリストを用いて—
園田 智子 (群馬大学国際教育・研究センター)

個人発表 第⑨会場 4F 3406 教室 (6月9日(日))

司会： 額賀 美紗子 (和光大学)
田崎 敦子 (東京農工大学)

- 13:00—13:30 韓国における母親の教育価値観、子どもへの期待、養育態度との関連
文 吉英 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
- 13:30—14:00 日本人大学生の国際化意識と外国人留学生の受入れ
竹田 理貴 (明治大学大学院国際日本学研究科)
- 14:00—14:30 国家と個人を区別した日韓関係調査手法に関する研究
福智 直美 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
- 14:30—15:00 小学校外国語活動を通しての異文化理解
大谷 みどり (島根大学)

個人発表 第⑩会場 4F 3408 教室 (6月9日(日))

司会：伊藤 孝恵 (山梨大学)

新倉 涼子 (千葉大学)

- 13:00—13:30 日本語学習とエスニック・アイデンティティ
—日系アメリカ人大学生へのインタビュー調査から—
中橋 真穂 (大阪大学大学院言語文化研究科)
- 13:30—14:00 日本在住の言語的マイノリティの子どもの二言語能力の関係 —物語文の聴解・再生
課題の分析を通して—
櫻井 千穂 (大阪大学大学院言語文化研究科)
- 14:00—14:30 在日ブラジル人青年とポルトガル語：継承による成果と獲得への動機
拝野 寿美子 (神田外語大学)
- 14:30—15:00 日系ブラジル人生徒の日本語習得と言語生活に関する縦断研究—集住地域Aにおけ
る5年間の縦断調査の結果から—
野山 広 (国立国語研究所日本語教育研究・情報センター)

共同発表 第①会場 4F 3409 教室 (6月8日(土))

司会： 奥田 純子 (コミュニケーション学院)
小林 亮 (玉川大学)

15:00-16:00 コリア系移住者の教育戦略

安本 博司 (大阪府立大学大学院人間社会学研究科)
金 花芬 (大阪府立大学大学院人間社会学研究科)

16:00-17:00 日本体験とキャリア形成：EPA 看護師の5年間の追跡から

浅井 亜紀子 (桜美林大学リベラルアーツ学群)
箕浦 康子 (お茶の水女子大学)
宮本 節子 (兵庫県立大学環境人間学部)

共同発表 第②会場 4F 3410 教室 (6月8日(土))

司会： 足立 祐子 (新潟大学)
杉村 美紀 (上智大学)

15:00－16:00 日本人学生は本当にディスカッションが苦手なのか
—日米韓データに基づく因果モデルの構築—

申 知元 (青山学院大学大学院国際政治経済研究科)
北 琢磨 (東京芝浦外语学院)
田崎 勝也 (青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科)

16:00－17:00 大学における「グローバル人材」育成のための教育実践

松岡 洋子 (岩手大学国際交流センター)
尾中 夏美 (岩手大学国際交流センター)

共同発表 第③会場 4F 3409 教室 (6月9日(日))

司会：久保田 真弓 (関西大学)

臼井 芳子 (獨協大学)

13:00-14:00 実践の共有のためには何が必要か—実践の可視化を中心に—

河野 俊之 (横浜国立大学教育人間学部)

金田 智子 (学習院大学文学部日本語日本文学科)

齋藤 ひろみ (東京学芸大学教育学部)

林 さと子 (津田塾大学)

14:00-15:00 短期ホストファミリー体験における異文化対応に関する学びの構造
—AUC-GS 学習モデルを用いた分析—

奥西 有理 (岡山理科大学)

田中 共子 (岡山大学社会文化科学研究科)

15:00-16:00 在日韓国人留学生における食の健康行動—異文化滞在者の食の多機能性に着目して—

田中 共子 (岡山大学社会文化科学研究科)

高浜 愛 (一橋大学法学研究科)

共同発表 第④会場 4F 3410 教室 (6月9日(日))

司会： 小澤 理恵子 (山梨大学)
長坂 香織 (山梨県立大学)

13:00-14:00 ニューカマー教員のライフストーリー—学力形成過程と進路選択要因に焦点を当てて—

浜田 麻里 (京都教育大学)
伊藤 悦子 (京都教育大学)

14:00-15:00 青年海外協力隊に参加した現職教員の意識変容に関する研究：参加者のプロフィールを中心に

小野 由美子 (鳴門教育大学)
前田 美子 (大阪女学院大学国際・英語学部)
中村 聡 (広島大学教育・国際室国際交流グループ)

15:00-16:00 外国につながる子ども達の幼少期からの支援を考える

西山 幸子 (愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム)
坂本 恵子 (愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム)
川口 直巳 (愛知教育大学教育学部現代学芸課程日本語教育コース)
大谷 実里 (愛知教育大学大学院教育学研究科)

ケース／パネル発表 第①会場 3F 3304 教室 (6月9日(日))

13:00-14:30 独日国際児のバイリテラシーの形成過程(2)－課題作文の縦断的分析を中心に

| | | |
|-----------|-------------|---------------------------|
| 共同発表者,司会者 | 柴山 真琴 | (大妻女子大学家政学部) |
| 共同発表者 | 池上 摩希子 | (早稲田大学大学院日本語教育研究科) |
| 共同発表者 | ビアルケ(當山) 千咲 | (上智大学国際教養学部ほか非常勤) |
| 共同発表者 | 高橋 登 | (大阪教育大学教育学部) |
| ディスカッサント | 石井 恵理子 | (東京女子大学現代教養学部人間科学科言語科学専攻) |

ケース／パネル発表 第②会場 3F 3305 教室 (6月9日(日))

13:00-14:30 東日本大震災後のアジア諸国の日本イメージと関連要因

| | | |
|-----------|---------|--------------------------|
| 共同発表者,司会者 | 加賀美 常美代 | (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科) |
| 共同発表者 | 守谷 智美 | (早稲田大学日本語教育研究センター) |
| 共同発表者 | 岡村 郁子 | (首都大学東京国際センター) |
| 共同発表者 | 岩井 朝乃 | (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) |
| 共同発表者 | 小松 翠 | (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) |
| 共同発表者 | 岡村 佳代 | (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) |
| 共同発表者 | 黄 美蘭 | (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) |
| 共同発表者 | 田中 詩子 | (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) |
| 共同発表者 | 西澤 真奈未 | (お茶の水女子大学大学院博士前期課程) |
| ディスカッサント | 坪井 健 | (駒澤大学文学部社会学科) |

ケース／パネル発表 第③会場 3F 3306 教室 (6月9日(日))

13:00-14:30 グローバル化社会と多面的アイデンティティ

| | | |
|-----------|-------|-------------------|
| 共同発表者,司会者 | 鈴木 一代 | (埼玉学園大学人間学部) |
| 共同発表者 | 末田 清子 | (青山学院大学国際政治経済学部) |
| 共同発表者 | 小林 亮 | (玉川大学教育学部) |
| ディスカッサント | 新田 文輝 | (吉備国際大学大学院社会学研究科) |

ケース／パネル発表 第④会場 3F 3307 教室 (6月9日(日))

14:30-16:00 「外国人児童生徒の日本語指導」の「特別な教育課程」化における諸課題—体制・内容・方法・人材育成

| | | |
|-----------|--------|------------------|
| 共同発表者,司会者 | 齋藤 ひろみ | (東京学芸大学教育学部) |
| 共同発表者 | 佐藤 郡衛 | (東京学芸大学国際教育センター) |
| 共同発表者 | 浜田 麻里 | (京都教育大学教育学部) |
| ディスカッサント | 内海 由美子 | (山形大学基盤教育院) |

ケース／パネル発表 第⑤会場 3F 3308 教室 (6月9日(日))

14:30-16:00 「多文化社会型居場所感」尺度の開発と多文化共生社会実現に向けた活用の可能性

| | | |
|-----------|--------|--------------------------|
| 共同発表者 | 阿部 裕 | (明治学院大学心理学部) |
| 共同発表者 | 山西 優二 | (早稲田大学文学学術院) |
| 共同発表者 | 山辺 真理子 | (立教大学) |
| 共同発表者,司会者 | 杉澤 経子 | (東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター) |
| ディスカッサント | 河北 祐子 | (上智大学短期大学部サービスラーニングセンター) |

ケース／パネル発表 第⑥会場 3F 3309 教室 (6月9日(日))

14:30-16:00 日本の公立学校における教員世界の多様性
—外国籍教員のもたらす「豊かさ」と経験する「壁」—

| | | |
|-----------|-------|------------------|
| 共同発表者,司会者 | 中島 智子 | (プール学院大学) |
| 共同発表者 | 権 瞳 | (プール学院大学) |
| 共同発表者 | 棚田 洋平 | (社団法人部落解放・人権研究所) |
| 共同発表者 | 金 侖貞 | (首都大学東京) |
| 共同発表者 | 李 月順 | (関西大学) |
| ディスカッサント | 児島 明 | (鳥取大学) |

ポスター発表 3F ホワイエ (6月9日(日) 13:30-15:00)

1. 幼児の異文化・自文化理解について

久津木 文 (神戸松蔭女子学院大学人間科学部)

2. 日本留学の長期的なインパクト(その2)ーインドネシア人元留学生の20年後のキャリアを通して考える

有川 友子 (大阪大学国際教育交流センター)

3. 外国につながる子どもの教育と行政

土屋 千尋 (帝京大学教育学部)

内海 由美子 (山形大学基盤教育院)

中川 祐治 (福島大学人間発達文化学類)

関 裕子 (筑波大学留学生センター)

4. 多文化共生をめざした新しい母語教育の可能性

高橋 朋子 (近畿大学日本語教育センター)

5. 第二言語教育における当該文化に対する態度ー地域の日本語教育のかかえる問題ー

足立 祐子 (新潟大学国際センター)

松岡 洋子 (岩手大学国際交流センター)

6. ブラジル人学校の教師は、公立学校から転入してきた児童生徒をどのように捉えているかーブラジル人学校での調査よりー

川口 直巳 (愛知教育大学教育学部現代学芸課程日本語教育コース)

丸井 合 (学校法人 HIRO 学園)

7. 大学生が考える座席行動から見た空間確保に関する一考察

廣内 裕子 (園田学園女子大学人間健康学部)

8. 性別役割分業意識と子育てのかかわり—日蘭比較研究

佐藤 淑子 (鎌倉女子大学児童学部・児童学研究科)

9. 大学における海外短期研修やグローバル人材育成研修の成果と意義

小柳 志津 (首都大学東京国際センター)

10. グローバル・リーダー育成プログラムの試み—名古屋大学のプログラムを例に—

渡部 留美 (名古屋大学国際交流協力推進本部)

11. 帰国生の複数言語への意味づけのプロセス

—帰国生のライフストーリーから「ことばの教育」に必要な視点を考える—

込宮 麻紀子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)

12. 身体障がい者の海外留学——日本の留学生制度の改善に向けての一考察

片岡 雄輝 (公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学)

工藤 和宏 (獨協大学外国語学部)

13. 短期留学における異文化間能力の向上とリフレクティブジャーナル導入の効果

山下 美樹 (麗澤大学)

14. ムスリムの学生生活紹介冊子の作成

田中 京子 (名古屋大学留学生センター)

15. 外国につながる幼児のための支援—幼稚園と保育園における参与観察を通して—

大谷 実里 (愛知教育大学大学院教育学研究科)

16. 国費学部留学生の予備教育中の人生の満足度について

小松 由美 (東京外国語大学留学生日本語教育センター)

17. 米国の国際結婚家庭における日本人女性の子育て—体験入学と母親の就業状況—
小林 美文 (立教大学国際センター)
18. 学生は短期語学研修参加によって何を得ているか—長崎大学韓国語研修を事例として—
松本 久美子 (長崎大学留学生センター)
19. 外国人児童生徒散在地域における学校—行政—大学の連携ネットワークの可能性 —少子高齢化・過疎化・広域行政化の中の萩市地域から—
南浦 涼介 (山口大学)
20. 韓国中等教育機関における韓国人日本語教師は授業で何を教えたいのか
—授業内容の分析から—
内田 紀子 (茨城大学非常勤講師)
21. 高等教育段階における帰国生徒受け入れの現状
稲田 素子 (立教大学)

第 34 回大会 賛助団体ご芳名

明石書店

アカデミア出版会

学文社

風間書房

くろしお出版

勁草書房

ココ出版

旬報社

ナカニシヤ出版

(以上、五十音順)

本大会を開催するにあたり、上記の団体より多大なご支援をいただきました。ここにご芳名を記して、感謝の意を表します。

異文化間教育学会
第 34 回大会準備委員会
委員長 渡部 淳

多文化社会の偏見・差別 形成のメカニズムと低減のための教育

加賀美常美代、横田雅弘、坪井 健、工藤和宏 編著

異文化間教育学会 企画 ◎定価2100円(本体2000円+税)

偏見はどのように形成され、人を苦悩させるのか、そして偏見低減のためにどのような可能性と実践があるのか? 偏見形成のメカニズムに関する実証データや行動観察、当事者の語りを考慮し、社会心理学の理論とヒューマンライブラリーを中心とした教育実践を詳解する。

■内容構成■

第1部 多文化社会における偏見形成

- 第1章 グローバル社会における多様性と偏見[加賀美常美代]
- 第2章 幼児の前偏見の生成と低減の可能性[佐藤千瀬]
- 第3章 差別の体験がどのように当事者を苦しめるか
——ライフストーリー
3-1 ユニークフェイス[手塚章太郎]
3-2 異文化体験と障がいをもつ家族との関係[坂田麗子]

第2部 偏見低減の理論と方法

- 第4章 偏見低減のための理論と可能性[浅井暢子]
- 第5章 大学における偏見低減のための教育実習とその効果
[加賀美常美代・守谷智美・村越彩・岡村佳代・黄美蘭・富田裕香]
- 第6章 ヒューマンライブラリーとは何か[横田雅弘]
——その背景と開催への誘い
- 第7章 大学におけるヒューマンライブラリーの実践[坪井健]
——駒澤大学坪井ゼミの取り組みから
- 第8章 偏見低減に向けた地域の取り組み[工藤和宏]
——オーストラリアのヒューマンライブラリーに学ぶ

異文化間教育 文化間移動と子どもの教育

佐藤部衛 著 ◎定価2625円(本体2500円+税)
異文化間教育の概念や研究方法を概観・再考すると同時に、従来の「異文化」というカテゴリー、単一文化・社会を基点にした捉え方を問い直し、今後の研究・教育政策の課題を提示する。

多文化教育がわかる事典

ありのままに生きられる社会をめざして
松尾知明 編著 ◎定価2940円(本体2800円+税)
急速なグローバル化の進展を背景に日本社会の多文化化が加速するなかで、多文化共生をいかに市民を育成するための多文化教育の実践・理念についてわかりやすく紹介するために、その全体像と基礎知識を50のテーマをとおして概観できるように構成。

グローバル化事典

地球社会を読み解く手引き
アンドリュー・ジョーンズ 著 佐々木てる 監訳 穂山 新、明戸隆浩、大井由紀、新倉貴仁 訳 ◎定価4200円(本体4000円+税)
グローバル化の議論は未だ展開中である。本書は単なる用語解説ではなく、広範で多様なこれまで議論を批判的に読み解き、現在の位置づけや重要性を提示した、今後の議論の出発点となる事典。重要な機構・組織、概念・現象、思想家など217項目を取り上げる。

現代国際理解教育事典

国際理解教育学会 編著 ◎定価4935円(本体4700円+税)
歴史・理論から多文化社会・グローバル社会・地球的課題等の学習領域、さらには学習論・方法論から代表的実践まで、11分野・270以上の項目を網羅。深遠な内容を包含する国際理解教育の実践と理論を最新の学問的成果を踏まえ編集・収録した本邦初の本格的な事典。

日韓共通歴史教材 学び、つながる 日本と韓国の近現代史

日韓共通歴史教材制作チーム 編 ◎定価1680円(本体1600円+税)
近代の入り口で列強の圧迫を受けた東アジアのなかで日本と韓国はどのような選択をしたのか。帝国主義国の仲間入りと植民地化という異なる道を歩んだ2つの国。歴史を国家の視点からだけでなく、民の視点、地域の視点を重視して生徒と共に考える歴史副教材。

明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
http://www.akashi.co.jp 振替00100-7-24505 *目録送呈

TEL.03-5818-1171 FAX.03-5818-1174

上巻 | 国際的潮流と日本の援助 小川啓一・西村幹子 編著 262頁
下巻 | 国際的なアプローチと実践 廣里恭史・北村友人 編著 270頁
A5判 定価2940円

途上国における基礎教育支援
留学を決めたあなたへ——人種主義体験とそのコーピング
西牟田祐美子 著 四六判 224頁 定価1890円

今日からあなたも日本通
三橋勇 編 四六判 216頁 定価2520円

開発教育で実践するESDカリキュラム
——(特活)開発教育協会内
ESD開発教育カリキュラム研究会 編 A5判 264頁 定価2520円
——地域を振り下げ、世界とつながる学びのデザイン

新刊のご案内

生涯学習と多文化・多民族教育の研究

岩崎正吾 編著 定価1995円 A5判 160頁
「生きる権利」としての生涯教育は各国でどのように取り組まれているのか。協働の営みとしての学習をめぐる教育のあり方を、多文化・多民族(エスニック・マイノリティ)の共生のための教育という視点から分析・考察する。

学生まちづくりの奇跡

——国立発!一橋大生のコミュニティビジネス
林大樹・横田雅弘 監修/菱沼勇介・田中えり子 編
KF書籍化プロジェクト 著 定価1890円 四六判 276頁
学生による地域活性化の先進的な事例として、店主・行政・市民と大学生が協力し、瀕死の商店街の活性化を目指す一橋大生の商店街活性化プロジェクトと東北大学、群馬大学、名古屋学院大学の事例を紹介。

教育の機会均等

岡田昭人 著 定価2310円 四六判 256頁
教育の「機会均等」とはいったい何か。基礎理論を解説し、歴史的変遷や展開を追い、主要各国の議論・政策を概観。あらためてその意義を問うと共に、多角的な視点から難問としての「教育の機会均等」に挑む。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

日系アメリカ人の文学活動の歴史的変遷

水野真理子著 7875円
1880年代から1980年代までの在米日本人・日系アメリカ人の文学活動の変遷過程を辿り、多様な移民経験の一端を描出。時間軸と個人の内面による重層的な分析を行う。

スペシャルオリンピックスがソーシャル・インクルージョンに果たす役割

小森亜紀子著 6300円
障害者のためのボランティア組織（スペシャルオリンピックス）と学校が連携し、交流体験プログラムを実施。知的障害児に対する偏見の解消を量的調査によって示す。

現代ドイツ中等歴史学習論改革に関する研究

宇都宮明子著 8400円
ドイツの指導要領と中等社会系教科書の分析から歴史学習の変革過程を考察することで、現代ドイツにおける中等歴史学習の現実的変革の論理と構造を解明する。

社会科教授用図書におけるアイヌ民族関係記述の生成と展開

吉田 正生著 14700円
アイヌ民族に関わる記述はいつ、なぜ社会科教科書に登場したのか。背景には人々のどのような思いがあったのか。本書は知られざる教育実践史の断面に光をあてた力作。

感情心理学からの文化接触研究

小柳 志津著 9975円
異文化対人接触ではなぜ文化の違いが問題を引き起こすのか？ 本書は、コンテクストでの関係性が文化規範への評価や感情の質を決めることを明らかにした好著。

グローバル化の中のポストコロナリズム

大熊昭信／庄司宏子編著 3990円
環太平洋諸国における少数民族や移民の痛切な苦悩の体験から発生した文学的営為を考察。作家の個人的な文化的経験にも関心を注ぎ、間文化主義の可能性を探る。

分断国家の国語教育と在日韓国・朝鮮学校の民族語教育

朴 校熙著 8400円
異なる国家体制の下、韓国と北朝鮮の国語及び国語教育の乖離ならびに海外公民教育として、両国が在日韓国・朝鮮学校の民族語教育に及ぼした影響について考察。

ブラジル人生徒と日本人教員の異文化間コミュニケーション

西田ひろ子編著 2940円
日本で就学しているブラジル人生徒を対象に、勉学の際の異文化適応問題をスキーマ理論から分析。教員と父兄のアンケートから生徒が抱える問題解決への道を探る。

明治初期におけるアメリカ教育情報受容の研究

橋本 美保著 12075円
近代学制編成期におけるアメリカ教育情報受容の実態を斬新な視点から検証し、日本における草創期の教育学研究の特質を考察した実証的研究。〈待望の重版出来〉

異文化間コミュニケーションにおける相互作用管理方略

佐々木由美著 14700円
文化スキーマ理論に基づき、各文化で獲得した方略スキーマにより、特定の相互作用の方略を選択することについて、実証的検証を試みた研究である。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

くろしお出版

英語の授業にも最適な大学生向けテキスト

Introduction to Communication for Japanese Students

大学生のためのコミュニケーション入門
■Kevin Heffernan [編著] / ¥1,575

新しいアプローチの初級日本語教科書

NEJ [vol.1] [vol.2]

A New Approach to Elementary Japanese
一テーマで学ぶ基礎日本語一

■西口光一 [著] / ¥1,995 / 音声無料ダウンロード

NEJ [vol.1] 中国語版

■西口光一 [著] / ¥1,995 / 音声無料ダウンロード

NEJ：指導参考書

■西口光一 [著] / ¥3,360 / 音声CD・イラスト集CD-ROM付

「クリティカル・リーディング」に挑戦

読む力 中級／中上級

■奥田純子 [監] 竹田悦子・丸山友子・久次優子ほか [著] / 各¥1,995

「移動する子ども」をめぐる考察

「移動する子ども」という記憶と力

ことばとアイデンティティ

■川上郁雄 [編] / ¥3,990

「移動する子どもたち」のことばの教育学

■川上郁雄 [著] / ¥3,780

私も「移動する子ども」だった

異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー

■川上郁雄 [編著] / ¥1,470

教師自身のコミュニケーションを見直す

授業を変えるコトバとワザ

小学校教師のコミュニケーション実践

■森篤嗣 [著] / ¥1,575

言語習得の注目分野に迫る

第二言語習得研究と言語教育

■畑佐一味・畑佐由紀子・百濟正和・清水崇文 [編著] / ¥3,675



〒113-0033 東京都文京区本郷 3-21-10 Tel 03-5684-3389 Fax 03-5684-4762

Mail kurosio@9640.jp

<http://www.9640.jp>

馬渕 仁 編著
A5判上製240頁定価2940円 ISBN978-4-326-25089-1

「多文化共生」は可能か

教育における挑戦
社会における「多文化共生」が謳われて久しいが、その実現は本当に可能なのか。論点を整理し、課題解決のための具体的な道筋を探る。



園山大祐 編著
A5判上製256頁定価3045円 ISBN978-4-326-25073-8

学校選択のパラドックス

フランス学区制と教育の公正
「学校選択」の結果、フランスでは何が起ったのか。階層・地域間格差・社会関係資本・親の教育戦略等を視野に、日仏の研究者が分析する。



佐久間孝正
四六判上製224頁定価2310円 ISBN978-4-326-29897-9

外国人の子どもの教育問題

政府内懇談会における提言
いま、この日本で、「学び」から遠ざけられている子どもたちがいる。ニューカマーの児童の不就学の実態と、問題解決に向けた提言。



佐久間孝正
四六判上製256頁定価3150円 ISBN978-4-326-29888-1

移民大国イギリスの実験

学校と地域にみる多文化の現実
多くの移民が流入するイギリスは、政策の大きな転換点にある。地域や学校における具体的な事例を取り上げ、多文化社会の現実を検証する。



清水陸美
A5判上製284頁定価4725円 ISBN978-4-326-25055-4

ニューカマーの子どもたち

学校と家族の間の日常世界
「はざま」で揺れ動く外国人の子どもの日常をフィールドワークによって描き、意味世界を構成するコンテキストとその生成を解明。



金井香里
A5判上製280頁定価4200円 ISBN978-4-326-25077-6

ニューカマーの子どもがいる教室

教師の認知と思考
外国人の子どもがいる教育現場で、教師はいかなる葛藤を経験しているのか。実践過程における教師の対処方略を、参与観察により詳細に検証する。



望月一枝
A5判上製288頁定価5250円 ISBN978-4-326-25077-6

シテイズンシップ教育と教師のポジショナリティ

家庭科・生活指導実践に着目して
教師の立ち位置に着目して、学校における授業や生活指導の場面を分析し、シテイズンシップ教育への接近方法とその構図を明らかにする。



*表示価格には消費税が含まれております。

けい ぞう 勁草書房

<http://www.keisoshobo.co.jp>

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

ココ出版

言語教育実践 イマ×ココ [創刊準備号]

現場(イマ×ココ)の実践を記す・実践を伝える・実践から学ぶ

実践持ち寄り会編 1,200円+税 ISBN 978-4-904595-29-9

『イマ×ココ』は、言語教育における実践の共有をめざす雑誌(年刊)です。現場の実践を丸ごと記し・伝えること、それを共有し、それぞれの眼差して意味づけることで、実践をより豊かで多様なものに変えていくことができる、という信念の下に『イマ×ココ』は生まれました。創刊号以降は投稿も受け付けます。詳しくは、「イマ×ココ」HPをご覧ください
→ <http://www.cocopb.com/imacoco/>



にほんごこれだけ! 1 & 2

庵功雄監修

(1) 1,000円+税 ISBN978-4-904595-06-0

(2) 1,200円+税 ISBN 978-4-904595-14-5

日本語ボランティアと定住外国人のための画期的教材!

JSL 中学高校生のための

教科につながる学習語彙・漢字ドリル

(ポルトガル語版) / (スペイン語版) / (中国語版)

樋口万喜子編 中学・高校生の日本語支援を考える会著 各1,600円+税

ISBN (ポ) 978-4-904595-21-3 / (ス) 978-4-904595-22-6 / (中) 978-4-904595-05-3

▽日本語教育学研究 3

ことばの市民になる

言語文化教育の思想と実践

細川英雄著 3,600円+税 ISBN 978-4-904595-27-5

▽シリーズ 多文化・多言語主義の現在 5

ろう者から見た「多文化共生」

もうひとつの言語的マイノリティ

佐々木倫子編 2,400円+税 ISBN 978-4-904595-24-4

[手話 DVD]

Vol.1 木村晴美・森壮也 手話講演 1,200円 ISBN 978-4-904595-30-5

Vol.2 久松三二・田門浩 手話講演 1,200円 ISBN 978-4-904595-31-2

▽日本語教育学の新潮流 4

第二言語習得における言語適性の役割

向山陽子著 3,600円+税 ISBN 978-4-904595-32-9

〈事態把握〉における日韓話者の認知スタンス

認知言語学の立場から見た補助動詞的な用法の

「ていく/くる」と「e kata/ota」の主観性

徐取廷著 3,600円+税 ISBN 978-4-904595-33-6

株式会社ココ出版 〒162-0828 東京都新宿区袋町 25-30-107
tel & fax 03-3269-5438 e-mail: info@cocopb.com www.cocopb.com

渡部淳十獲得型教育研究会の本

学びへの ウォーミングアップ 70の技法

教科学習、総合学習、ホームルーム、進路指導、生徒会活動、などさまざまなシーンで活用できる70種類のアクティビティを紹介。この一冊で教室の雰囲気が変わります。



定価 2415円

学びを変える ドラマの手法

ドラマを活用して、深く豊かな学びの世界を開拓しよう。学びをよりいきいきしたものに改革しよう。豊富な実践事例でコミュニケーション能力を育む画期的な一冊！



定価 2100円

教師 — 学びの演出家 渡部淳著

授業に演劇的表現の可能性を追求しつづけて、コトバ、モノ、身体を駆使した学びの世界を創造する新しい教師の演出家を提案する。



定価 2625円

教師のしごと

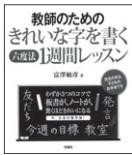
泣いて、笑って、ちよっぴり元気
佐藤隆 山崎隆夫と25人の若い教師たち編
うまくいかないとき、ほかの先生たちはどうしてる？ 若い教師の等身大の声がふれる、こころ温まる一冊



定価 1575円

教師のための きれいな字を書く 六度法1週間レッスン

富澤敏彦 著
先生の字は子どもたちのお手本です！忙しい先生も、たった1週間、3つのコツで確実に上手くなる！



定価 1575円



TEL 112-0015 東京都文京区目白台 2-14-13

FAX 03-3943-9911 ファクス 03-3943-8396

立ち読み機能など充実 ▼(価格税込) <http://www.junposha.com/>

ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111 〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15
FAX 075-723-0095 <http://www.nakanishiya.co.jp/> [表示は税込価格]

話し合いトレーニング グローバルキャリア教育

大塚裕子・森本郁代 編著
◎伝える力、聴く力、問う力を育てる自律型対話入門
様々な大学での授業実践から生まれた、情報共有や問題解決のための能力を育むグループワークの決定版！ 1995円

新編 大学学びのことはじめ 学びのデザインノート

佐藤智明・矢島 彰・安保克也 編
◎初年次セミナーワークブック
高大接続の初年次教育に最適なベストセラーワークブック。ミッション入りで書き込み、切り取り、提出が簡単！ 1995円

大学1年生からの コミュニケーション入門 自分で作る 調査マニユアル

中野美香 著「ワークシート課題付」
豊富なグループワークでコミュニケーション能力を磨く、高・大・社会人向けキャリア教育テキストの決定版。 1995円

コミュニケーション研究法 社会科学のための 文化比較の方法

末田清子・抱井尚子・田崎勝也・猿橋順子 編著
研究倫理などの心構えから、フィールドワークや実験法、質問紙法、統計まで、コミュニケーションに関する多彩な研究手法を網羅して解説する。 3360円

動きながら識る、 関わりながら考える 留学生アドバイジング

伊藤哲司・能智正博・田中共子 編
◎心理学における質的研究の実践
テーマを発見・分析し「研究」としてまとめるステップを具体的に解説。 2940円

異文化間協働における コミュニケーション データで見る 東アジアの健康と社会

山本志都 著◎相互作用の学習体験化および組織と個人の影響の検証的研究
異文化間コミュニケーションにより組織を活性化する方法を提案。 3675円

岩井紀子・埴淵知哉 編
◎東アジア社会調査による日韓中台の比較
ISSS2010によって、健康や医療・福祉、環境問題などへの意識を解明。 5040円

異文化間教育学会

異文化間教育

◆バックナンバーのご案内(分冊でも全冊でもご購入いただけます)

- 1 特集＝異文化間教育と教育の国際化 本体2300円＋税
- 2 特集＝異文化間教育と国際理解 本体2300円＋税
- 3 特集＝異文化間教育とコミュニケーション 本体2300円＋税
- 4 特集＝外国語としての日本語の教育 本体2300円＋税
- 5 特集＝在日留学生と異文化接触 本体2300円＋税
- 6 特集＝異文化接触と教育摩擦 本体2500円＋税
- 7 特集＝多文化教育と外国人教育 本体2500円＋税
- 8 特集＝異文化理解と言語教育 本体2500円＋税
- 9 特集＝異文化接触とアイデンティティ 本体2500円＋税
- 10 特集＝異文化間教育学の可能性—学会十五年の回顧と展望 本体2500円＋税
- 11 特集＝異文化間リテラシー 本体2500円＋税
- 12 特集＝異文化間教育の実践的展開—その理論と方法 本体2500円＋税
- 13 特集＝留学生支援システムの最前線 本体2500円＋税
- 14 特集＝小学校の英語教育—異文化間教育からの提言 本体2500円＋税
- 15 特集＝異文化間トレランス〈20周年記念〉本体3000円＋税
- 16 特集＝異文化受容の転機 本体2500円＋税
- 17 特集＝「総合的な学習」と異文化間教育 本体2000円＋税
- 18 特集＝地域ネットワークと異文化間教育 本体2000円＋税
- 19 特集＝越境のもたらすもの 本体2000円＋税
- 20 特集＝異文化間カウンセリングの今日的課題 本体2000円＋税
- 21 特集＝在日外国人教育の現在 本体2000円＋税
- 22 特集＝異文化間教育研究と「日本人性」 本体2000円＋税
- 23 特集＝異文化間教育の現在 本体2000円＋税
- 24 特集＝異文化間教育の語り直し—他者・境界・文節化 本体2000円＋税
- 25 特集＝異文化間教育と教師 本体2000円＋税
- 26 特集＝バイカルチュラル家族—複数の文化と言語が交叉するところ 本体2000円＋税
- 27 特集＝異文化間教育学会25年の回顧と展望 本体2300円＋税
- 28 特集＝地域におけるニューカマー支援と連携—異文化間教育学の視座から 本体2300円＋税
- 29 特集＝異文化間のコミュニケーションを考える 本体2300円＋税
- 30 特集＝多文化共生社会をめざして—異文化間教育の使命 本体2300円＋税
- 31 特集＝生涯を通しての「異文化間教育」 本体2300円＋税

異文化間協働—国際文化学の展開

小林哲也 森 聖雨 太田洋子 編著

四六判376ページ 定価(本体3500円＋税)

まえがき

第I部 国際文化学の展開—異文化をつなぐ関係性

- 1 国際文化学を学ぶ—アイデンティティと学際性をめぐって 小林哲也
- 2 国際文化の学を考える—体系としての確立をめざして 森 聖雨
- 3 国際文化学の源泉を探る—コスモポリタニズムという希望 佃 繁

第II部 文学から文化学へ—異文化間理解

- 1 自然と文化が巡り合う場所—つなぎ目としてのシドニーの庭園 大田垣裕子
- 2 宇宙のリズムへのつながり—児童文学の試み 大角洋子
- 3 文化の衝突を超えて—E. M. フォイスター『天使も踏むを恐れるところ』 太田洋子
- 4 条理と不条理の間—ミリエル・スパーク『ブラック・マドンナ』 杉山克枝
- 5 日本文化の多元的認識と「南島」—「ヤポネシア」という視点 西尾宣明

第III部 多文化と相互理解—異文化間交流

- 1 相互理解のコミュニケーション—文化的背景の異なる場 樋口勝也
- 2 国際語としての英語—その功罪 伊達民和
- 3 多文化社会アメリカの葛藤と共生—黒人大学をめぐる 権 瞳
- 4 誤解させる日本という国—説明責任をとらない文化 西道 実

第IV部 実践と理論への志向—異文化間協働

- 1 意識変容と協働の学習—海外体験がもたらすものマッセルホワイト、リンダ・ダイアン 松田浩志
- 2 異文化間協働の実践—ネパール研修 関 綾子
- 3 日本語「紹介」の活動—自己の文化の認識から意識の変容へ 亀井慶二
- 4 異文化における教育協力—ミャンマーでの経験をともに 寺田恭子
- 5 「地域のつながり」と子育て支援—市民と行政による「食育」の協働 森定玲子
- 6 異文化間協働が拓く福祉社会—ボランティア活動は境界を越える 太田洋子

あとがき

アカデミア出版会

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町1-6 TEL.075-771-7055 FAX.075-771-9595

異文化間教育学会第 34 回大会準備委員会

大会準備委員長 渡部 淳 (日本大学)
副委員長 小山 憲司 (日本大学)
事務局長 和田 俊彦 (跡見学園中学校高等学校)

委員 宇内 一文 (立教女学院短期大学)
富田 純喜 (日本大学)
松岡 侑介 (日本大学)
藤井 洋武 (日本大学)
初海 茂 (八王子市立松木中学校)
両角 桂子 (埼玉県立ふじみ野高等学校)

日本大学文理学部教育学科スタッフ 橋本 実佳 (日本大学)
森 春香 (日本大学)

学生スタッフ 日本大学文理学部・大学院 渡部ゼミ生

表紙デザイン 中原 道高 (東京都立目黒高等学校)

異文化間教育学会 第 34 回大会プログラム

発行日 2013 年 5 月 10 日

発行者 異文化間教育学会第 34 回大会準備委員会

委員長 渡部 淳

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

日本大学文理学部 渡部研究室内

E-mail: iesj2013@gmail.com

Fax: 03-5317-9425

